



浜小だより

2月号

NO. 12

茅ヶ崎市立浜須賀小学校

TEL 85-1184

令和4年2月1日 校長

松永 忠弘

「金メダリスト、訪問！」

～ソフトボール日本代表・清原選手と
日立サンディーバの選手の皆さん～



1月13日(木)

に、昨年の東京オリンピックで金メダルを獲得した日本代表チームでキャッチャーを務めた清原奈侑選手が、所

属する「日立サンディーバ」の選手の皆さんと一緒に浜須賀小学校に来てくださいました。

昼休みには、6年生代表によるインタビューを「はまテレ」(校内テレビ放送)で全校に生中継しました。6年生に「負けた時の気持ちの切り替え方」について聞かれた清原選手は、「振り返りは後でしっかりする。だけど、負けた悔しさは、次の試合でしか返せないといつも思っている。」と話していました。

5時間目、6時間目は、5年生が授業を受けました。全員が金メダルを持たせていただいたり、日本代表チームのユニ



フォームに触れさせていただいたりして子どもたちは大感激でした。また、「日立サンディーバ」の選手の皆さんには、迫力あるプロのピッチングやバッティングを見せていただいた後、ティーバッティングの手ほどきを受けました。子どもたちにとって忘れられない貴重な体験となりました。

(「茅ヶ崎ソフトボール協会」様の

ご協力で実現しました)

「ネットボールの体験！」

～全日本代表の監督さんが
教えに来てくださいました～

1月14日(金)

3年生が「ネットボール」の体験授業を受けました。ネットボールとは、1980年代に女性向けバスケットボールとし



て、イギリスで生まれたスポーツだそうです。なんとご指導いただいたのは、日本ネットボール全日本の多胡英子監督と大学の選手の皆さんです。

バスケットのゴールに似た高さが調節できるゴールにボールを入れるのですが、ドリブルができないというルールがあるので、パスでつながりありません。そして、自分が移動できるポジションも決められています。ボール運動が得意な子も苦手な子も、チームの全員が生かされる競技です。

初めて体験したスポーツですが、みんなとても楽しんでいました。

(本校の矢内真里衣教諭が、学生時代日本代表選手で多胡監督のご指導をいただいていたご縁で、一般社団法人「社会応援ネットワーク」主催のもと実現しました。)

「PTAの皆さま、 いつもありがとうございます！」

PTAより、各教室用のゴミ袋とスーパーの袋を寄贈していただきました。感染状況が悪化し、感染防止のため「牛乳パック」をリサイクルに出さずゴミとして処理していますので、さっそく毎日使わせていただいております。

いつも本当にありがとうございます。

「新型コロナウイルス感染症感染防止」

～ご協力をお願いします！～

全国の感染者数は、年明けから急激に増え、第5派のピーク時をはるかに超える勢いです。神奈川県は、1月21日（金）～2月13日（日）まで、まん延防止等重点措置が適用されることになりました。それに先立ち、茅ヶ崎市は、1月17日（月）より学校の行動基準について「レベル3」に引き上げるとともに、学校における教育活動について従来の「レベル3」にさらなる制限を加えた暫定的措置を講じているところです。

市内でも児童・生徒、職員の感染が連日報告されています。すでに、連絡メールで連絡をさせていただいておりますが、本校でも、今日までの間にいくつかの学級が学級閉鎖となりました。これは、1月21日（金）に茅ヶ崎市教育委員会より配付させていただいた「感染拡大期における学校での児童・生徒の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応について」に記載された基準に則って、個々の感染者の状況や、感染の広がりの可能性を含め検討し、茅ヶ崎保健所が判断しているところです。ご不明、ご不安な点もあろうかと思いますが、なにとぞご理解くださいますようお願い申し上げます。

【学校での取り組み】

※従来の「レベル3」にさらに制限を加えた暫定的な措置の下、教育活動に取り組んでいます。

- ・マスクの適切な着用、手洗い、教室の換気、3密（密集・密接・密閉）の回避を徹底しています。
- ・登校後、昇降口が空くまでの間、ソーシャルディスタンスを保って並んで待っています。
- ・一斉音読、鍵盤ハーモニカ、リコーダー演奏等（個別のテストを除く）、また、対面での会話を伴う教育活動、調理実習、学年集会、異学年交流、委員会活動、クラブ活動、密集を伴う運動等は、当面の間行いません。
- ・給食時の「黙食」を継続して実施しています。
- ・牛乳パックは開いてリサイクルに出さず、そのまま回収してもらっています。
- ・20分休みと昼休みの外遊びを、職員見守りの下、分散で行っています。
- ・放課後の校庭開放を、当面の間見合わせています。

1年生が手を
広げて並んで
いました



【ご家庭へのお願い】

- ・毎朝、健康観察と検温を行い、少しでも体調がよくなかったら、無理をせず登校を控えてください。
- ・児童が陽性者もしくは濃厚接触者となった場合、速やかに学校へ報告してください。
- ・児童及び同居の家族がPCR検査など感染を確認する検査を受ける場合、検査結果が出るまでは登校を控えてください。（この場合、出席停止扱いとなります。）
- ・学級閉鎖を実施する場合、当該クラスは判断の時間によっては、早めに下校させる場合があります。保護者の方の引き取りをお願いすることがございますので、あらかじめご承知おきください。
- ・着用するマスクの素材については、不織布マスクが最も飛沫の捕集効果があるとされています。状況に応じた活用をご検討ください。
- ・放課後に遊びに行くことをできるだけ控える、または、遊び方に十分注意する（マスクの着用など）等、お声がけください。

※感染対策は、変異株であっても、3密（密集・密接・密閉）の回避や特にリスクの高い5つの場面（マスクなしでの会話、大人数や長時間の飲食など）の回避、マスクの適切な着用、手洗いなどが有効とされています。家庭内での感染防止対策に、引き続きお取り組みいただきますようお願いいたします。

「子どもたちが安心して登校できるように」 ～差別・偏見を許さない！！～

コロナウイルス感染症による学級閉鎖ののち登校を再開するとき、子どもたちはどんな気持ちで登校してくるでしょうか。まして、心ならずも感染してしまった子の気持ちはどうでしょうか。

これだけ市中感染が拡大している状況では、コロナウイルス感染症は、今や誰がなってもおかしくありません。十分感染対策をしても、注意していても感染してしまうのです。

学校は、コロナによる「差別、偏見」を絶対に許しません。全教職員がそのことを共通理解したうえで、全校児童の指導にあたってまいります。

どうかお子さんを安心して登校させてあげてください。

「令和3年度全国学力学習状況調査」(6年生)

昨年5月27日に実施された全国学力・学習状況調査の結果から、本校の児童の学習や生活の状況について次のような傾向が見られましたので、ご報告いたします。

教科に関しては、国語では、「思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと」(文中の「より」と同じ使い方の語句を選ぶ問題・言葉の特徴や使い方)や「目的に応じ話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えること」(話すこと)では、力を発揮しています。一方、「漢字を文の中で正しく使う」(漢字)「文の中における主語と述語の関係を捉える」「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」(読むことに)ことに課題が見られました。

算数では、「時刻を求めたり、棒グラフから数量や関係を読みとったりする」問題など、「数と計算とデータの活用」についての知識・技能を問うものでは力を発揮していますが、「三角形の面積の求め方」や「速さを求める除法の式と商の意味」についての知識・技能を問うものについては、課題が見られました。これらの児童の学習状況の実態を真摯に受け止め、授業研究をさらに充実させ職員の授業力の向上を図ってまいります。

生活状況や意識に関する調査からは、学習面では、「友達と話し合うとき、友達の意見を最後まで聞き、資料や文章、話の組み立てを工夫して発表する」姿勢が見られました。英語については、「英語の授業が好き」という回答をした割合が、全国平均を大きく上回っていました。読書については、一日30分以下、全くしないと回答した割合が8割近くありました。

また、顕著なのは、「自分には良いところがある」(自己肯定感)「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」「人が困っているときは進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「友達と協力するのは楽しい」などの設問に肯定的な回答をしている児童が、例年同様多い傾向が見られた点です。自己肯定感や協力、規範意識の高さがうかがえます。良さは大いに認めながら、一方で、否定的な回答をしている児童に目を向けていかなければならないと考えています。

携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方については、「家の人と約束したことを守っている」と回答した割合が高い値とは言えませんでした。引き続き、ご家庭でのお声かけをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に関連した設問では、「休校期間中、勉強に不安を感じた」と回答した割合が、5割を超えていました。学習面だけでなく、生活面での不安やストレスも少なからずあったことと思います。一人一人の児童の様子に丁寧に目を向け、相談・支援体制の充実を図ってまいります。

本調査から得られた結果は、児童の学習や生活の状況のすべてを表すものではありませんが、傾向を踏まえ今後の日々の教育活動に生かしてまいりたいと思います。